

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

愛媛県 西条市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	61.56	47.94	2,970	

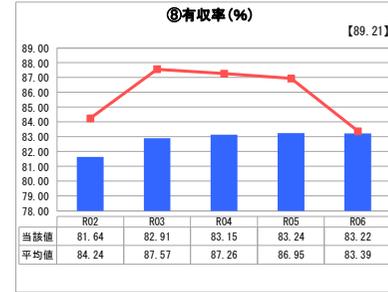
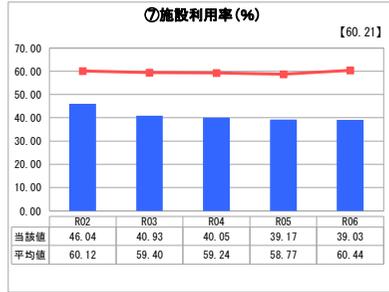
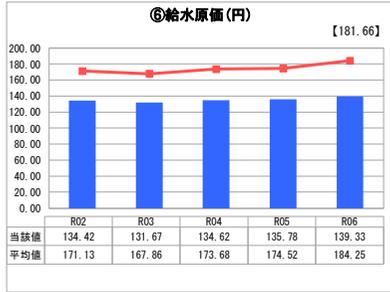
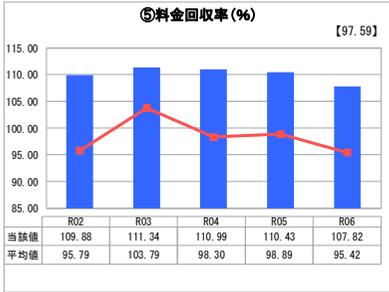
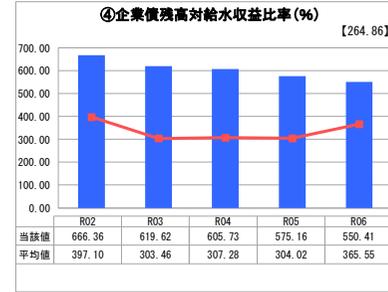
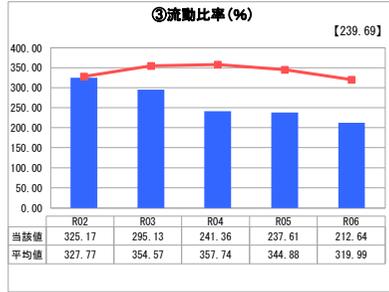
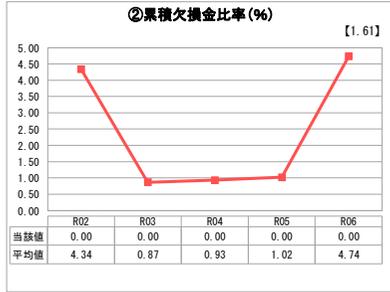
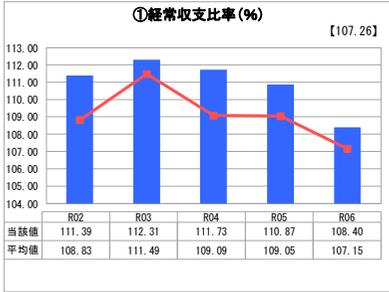
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
103,413	510.04	202.75
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
49,339	105.61	467.18

**グラフ凡例**

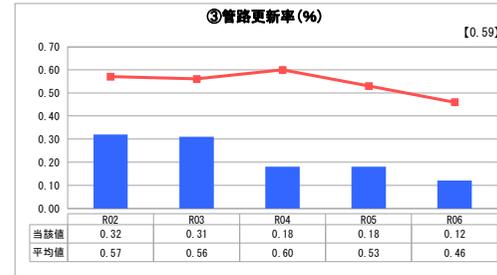
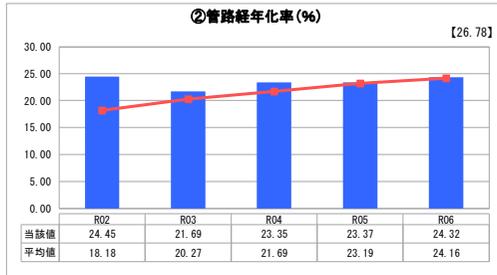
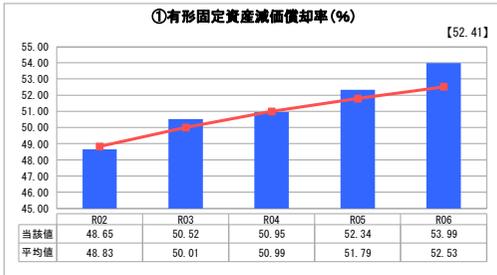
- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、給水人口の減少等に伴う料金収入の減少及び物価上昇等に伴う維持管理費の増加により低下した。低下傾向が続いている点については注視が必要であるものの、100%以上を維持しており、類似団体平均値を上回っている。

② 流動比率は、類似団体平均値を下回っているものの、100%を大きく上回っており、短期的な支払能力に問題はない。この低下は、④企業債残高対給水収益比率の改善を目的とした財源見直しによるものである。

⑤ 料金回収率は、維持管理費の増加による⑥給水原価の上昇により低下しているが、類似団体と比較すると高い水準を維持している。これは、良質な地下水が豊富であり、高度な浄水施設等が不要である当市の特性によるものである。

⑦ 施設利用率は、類似団体と比較して低い水準にある。今後、さらに低下が見られる場合には、ダウンサイジング等の検討が必要である。

⑧ 有収率は、類似団体平均値に近づいてきているが、引き続き漏水調査等を実施し、原因の特定及び改善に取り組み必要がある。

※類似団体平均の大きな変動は、事業統合により令和3年度に類似団体区分がA5からA4へ変更されたこと、及び人口減少により令和6年度に再びA5へ戻ったことによるものである。

## 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を上回っており、今後も上昇傾向が続くものと見込まれる。

② 管路経年率は類似団体と概ね同水準にあるが、今後も上昇が見込まれている。一方、③管路更新率は類似団体と比較して低い水準にとどまっている。創設期及び拡張期に布設された管路が順次耐用年数を迎える中、効率的な施設利用を図るためにも、中長期的な視点に立った計画的な更新等が求められる。

※管路経年率が令和3年度に減少しているのは、令和3年度に統合した簡易水道及び専用水道の大半が比較的新しく創設された事業であり、耐用年数を迎えていない管路が多いためである。

## 全体総括

西条市では、令和3年度の事業統合をはじめ、これまでさまざまな経営基盤強化の取組を進めてきた。

しかし、人口減少等に伴う収益の減少や物価高騰等による費用の増加により利益は減少しており、水道事業の運営は厳しい状況にある。また、良質な地下水が豊富であることから水道普及率が低く効率性に課題があるほか、老朽化が進む施設については、耐震化を含めた計画的な更新とそのための財源確保が必要である。

将来にわたり安全で安心な水道水を供給するため、令和7年度に使用料等審議会を開催し、令和8年度6月請求分から料金改定を行うこととしている。

今後も、適切な時期・水準での料金改定や費用削減に取り組み、健全経営の維持を図っていく。